

令和8年度 鶴嶺公民館主催事業実施報告（4月～7月実施分）

1 子ども事業

令和8年7月30日時点（速報値）

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	申込	参加者	成果・課題
1	子どもの広場	対面	小学生を対象に、工作・お菓子作り・スポーツや野外活動等のふれあいの場を設け、さまざまな体験を通して自立心を養う。季節の風物詩を取り入れ日本の伝統継承の心を養う。年4回を予定	5/24（日）	小学生と保護者	35組	35組	35組	5月はJAL折り紙ヒコーキ教室を開催。折り紙ヒコーキ認定指導員の協力のもと、折り紙ヒコーキの折り方や飛ばし方を学び、親子や参加者同士でコミュニケーションをはかる機会を創出することができた。
2	スポーツチャンバラ体験教室	対面	エアースoft剣を使って、スポーツとしての武道を学ぶ。チームを作って、学年を越えて交流する。	6/28（日）	小学生	20人	16人	－	台風のため中止
3	2026めざせ★リサイクルマスター 海洋ごみ学習カードゲームで遊びながら海を守ろう！！	対面	JPSA（小学生対象）のカードゲームを使って環境について考える。	7/29（水）	小学生	30人	4人	5人	当日キャンセルもあったが、当日興味をもって飛び入り参加する子もいた。環境学習カードゲームで遊びながら、ごみの分別に興味を持ち、お互いに協力して取り組むことむことができた。
4	小学生サークル体験（7月,8月）	対面	令和8年度は夏場の猛暑の影響を考慮し、通年を通してサークルへの協力を依頼。希望する場合は小学生の夏休み期間にも、サークル活動の場を開放した。体験学習を経験させることで、世代を超えたつながりを創出する。 ①しおりづくり（仲間づくりかよう会） ②ウクレレ・リコーダー（OTO-TOYハウス）※ ③音あそび（OTO-TOYハウス） ④パソコンでメモ帳づくり（パソコン鶴嶺クラブ・浜之郷パソコンクラブ）※ ⑤バトントワーリング（Fatina） ※の2団体は、同日に2回開催	①7/28（火） ②7/29（水） ③7/30（木） ④8/ 4（土） ⑤8/ 5（水） 8/19（水）	小学生	①15人 ②10人 10人 ③10人 ④10人 10人 ⑤10人	①13人 ②11人 3人 ③ 9人 ④ 1人 5人 ⑤ 6人	－	

2 家庭教育支援関連事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	申込	参加者	成果・課題
1	子育ての広場 カルガモ	対面	乳幼児を持つ家族の憩いの場として子ども室を開放し、育児をしている保護者の息抜きとなり、自然な形で育児に関する悩みや不安を軽減できるような場所を提供する。	毎月第4木曜日	乳幼児と保護者	30人	－	4月：9組19人 5月：12組24人 6月：7組14人	保護者同士のロコミなどの影響もあり、徐々に参加者が増えてきている。保護者同士の憩いの場として、機能してきている。
2	親子料理教室	対面	夏休みを利用し、親子を対象に栄養士による講義と、食生活改善推進団体ばらの指導による実習を行い、食の大切さを体験させる。	7/5（日）	小学生と保護者	6組	24組	6組	親子で楽しく料理をすることで、食材の持つ栄養や特徴と「食」の大切さや、親子の絆と日常生活に欠かすことのできない「食」への意識を深めることができた。また、参加者同士の交流の機会となった。
3	子ども室開放	その他	令和8年度より実施。乳幼児を持つ家庭を対象に子ども室を開放し、憩いの場、コミュニケーションの場を提供する。	毎月第4木曜日を除く木曜日	乳幼児と保護者	－	－	6月：8組12人 7月：12組25人	保護者同士のロコミなどで参加が広がってきており、子育て世代の憩いの場として、機能してきている。

3 シニア事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	申込	参加者	成果・課題
1	遊々クラブ	対面	外出や趣味を持つ機会の少ない高齢者に、気軽に参加できる音楽、手芸、散策などの体験の場を年間を通して提供し、新しいコミュニティ作りを目指す。	①4/30（木） 10時～、11時～ ②7/30（木） 10時～、11時～	65歳以上	各回5人	①10時：2人 11時：3人	①10時：2人 11時：3人	4月と7月は「講座の申し込み方 お教えします」を実施した。インターネットを利用した公民館主催講座の申し込み方を学び、ネット申込に対する苦手意識の解消の機会を提供した。

4 地域課題解決等事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	申込	参加者	成果・課題
1	卓球開放	対面	身近な卓球を気軽にできるよう、卓球サークルの協力の元で、講義室を卓球場として一般開放する。	毎月第2・第4日曜日	一般	12人	—	4月：17人, 18人 5月：15人, 15人 6月：10人 7月：17人, 15人	年齢、技量などに囚われず、誰もが個々の目的に合わせ、ライフステージに応じて生涯スポーツを楽しむことを目的に、小学生から80歳代まで、幅広い年代が参加している。つまみね卓球同好会の指導・協力のもと、参加者同志がコミュニケーションを図れる憩いの場を提供している。
2	つまみねミュージックイン「そよ風コンサート」	対面	地域の音楽文化を育てる支援をするとともに、日頃の練習成果を発表する機会とし、また音楽を通しての仲間づくりの場にする。	①5/16（土） ②5/17（日）	出演者：公民館活動サークル及び市内在住・在勤・在学の音楽愛好者	各12組	出演者 ①12組54人 ②11組60人	出演者 ①12組54人 ②10組60人	これまで1月に行っていた「ニューイヤーコンサート」の開催時期を令和6年度から5月に開催時期を変更し、3年目を迎えた。日頃の練習の成果を身近な場所で発表する場として、地域の人たちと音楽をとおして触れ合う機会を提供することができた。
3	鎌倉歴史散策「鎌倉幕府滅亡ゆかりの史跡をめぐる」	散策（屋外活動）	歴史の宝庫である鎌倉の史跡旧跡を散策し、鎌倉の歴史への造詣を深め、参加者同士の交流を深める。	5/28（木） ※5/21雨天順延	一般	12人	19人	8人	当初、5/21（木）の開催を予定していたが、雨天により28日に変更になったことにともない、参加者が12人から8人となってしまった。新田義貞の倒幕により滅亡した執権北条氏のゆかりの地を巡り、地域への興味関心を喚起する内容とすることができた。
4	夏の貝殻リース作り	対面	自然素材やアートフラワーを使って、夏の貝殻リースを作ることで、「自らの創造による癒し」を模索し、心の豊かさを獲得する。	6/21（日）	一般	12人	14人	9人	自分の創造性を活かしたオリジナルなリースを作りを行った。参加者の作品を鑑賞し合う場を設け、参加者が交流する機会を提供できた。
5	イスに座ってらくらく体操	対面	専門指導士による生活習慣病予防のための、イスを使った体操を習得してもらう。	6/30（火）	65歳以上	15人	15人	13人	令和7年度までは、「肩こり・腰痛・膝痛予防体操」として、マットを利用した体操をしていたが、高齢者にとってマットより体への負担が少なくて動ける椅子を使った体操に変更した。参加者の負担なく、アンケートにおいて参加者全員が今後も継続すると回答した。
6	海のSDGs 海藻おしば教室	対面	海藻おしば協会に指導を依頼し、SDGs、特に海の汚染を学びながら、多種類の海藻を自由にレイアウトして自分だけのおしばを作る。	7/4（土）	小学生～一般	16人	11人	11人	海藻でおしば（ポストカード）づくりを楽しみながら、身近な海が汚染されていることを学ぶ機会となった。カード作りが続いたため、今後は隔年ごとに制作物を替え、新たな参加者が増えるように努める。
7	普通救命講習会	対面	AEDの使い方を中心に、応急手当の手法を学び、地域の応急対応力の向上に資する。	7/25（土）	一般	15人	15人	12人	AEDの使用方法や心肺蘇生法を実技体験を通じて習得し、非常時における初動対応を学ぶ機会となった。
8	学習室開放	その他	学生の学習支援と公民館の空室の活用を図る。	4月～3月 随時	中学生～大学生	—	—	4月：20人 5月：29人 6月：11人 7月：20人	徐々に学習室が認知されてきている。特に定期試験前は、中高生の利用が多く見受けられた。

5 学習成果活用・学習情報提供事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	申込	参加者	成果・課題
1	ロビー展	その他	公民館利用団体の活動内容や成果をロビーを活用し、展示・発表する場にする。	随時	－	－	－	－	8/ 9～ 9/13 鶴嶺写真クラブ（作品展示） 9/26～10/ 8 鶴嶺てんこく会（作品展示） 10/ 9～10/23 デッサングループ アミーゴ（作品展示）

6 公民館利用者活動支援事業

No.	事業名	方法	事業の概要	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	利用者懇談会		公民館利用者団体で組織される懇談会（意見交換会のほか、草取り、大掃除等）		○	草取			○	草取		大掃除		○	
2	利用者懇談会 5 館協議会		5 公民館の利用者による意見交換会				17								

7 次世代ネットワーク事業

No.	事業名	方法	事業の概要	開催日	対象	定員	申込	参加者	成果・課題
1	インターンシップ受け入れ	対面	近隣中学生に公民館の仕事について理解してもらう。	11/20(金) 鶴嶺中学校	中学生	2人	－	－	－

8 公民館運営審議会等

No.	事業名	方法	事業の概要	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	公民館運営審議会	対面	公民館における主催事業等の企画実施についての調査・審議等や館長の諮問に応じ答申を行う。				31								○
2	公民館運営審議会委員連絡協議会	対面	5 館の公民館運営審議会委員の連絡協議会。	実施時期検討中											
3	神奈川県公民館連絡協議会研修会	対面	神奈川県公民館連絡協議会主催の研修会に公民館運営審議会委員、館長などが参加。	実施時期検討中											
4	公民館運営審議会委員等研修会	対面	社会教育委員・公民館運営審議会委員を対象に、社会教育への理解を深められるよう、社会教育の基礎的な学習を行う（社会教育課主催）					●							

9 施設維持管理

No.	事業名	方法	事業の概要	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	施設維持管理及び設備保守点検			適宜実施 (保守・点検・修繕)											